

課題（町内全体的な課題）

資料 04-2 まんのう町の現状・問題点・課題

1. 利用実態の合わせた公共交通の構築

【丸亀市との関係】
 ◇住民アンケートの移動実態より、通勤・通学先で最も多いのは丸亀市（通勤 21.5%、通学 36.4%）となっている。また、通院先では香川労災病院（13.6%）であり、買い物先ではフジグラン丸亀（38.8%）となっており、丸亀市への移動が多い。
 ◇公共交通においては、現状、鉄道や路線バスを利用して丸亀市に行くことはできるが、利便性の向上などが今後、必要であり、特にフジグラン丸亀に直接行ける路線バスなどが無い。

【琴平町との関係】
 ◇住民アンケートの移動実態より、琴平町は通勤先で 8.2%、通学先で 12.1%となっている。また、通院先では五条眼科医院が 13.8%となっており、これ以外にも琴平町内へ通院されている。買い物先ではマルナカ（琴平店）が 12.0%となっている。
 ◇公共交通においては、現状、鉄道や路線バスを利用して琴平町に行くことはできるが、利便性の向上などが今後、必要であり、特にあいあいタクシーを利用して琴平町内の鉄道駅に行くことができない。

（現状・問題点）

- ・高篠地区は、丸亀市との生活圏のつながりが大きいので、関連するバス停の位置等に配慮することが必要ではないか。
- ・丸亀市へは JR 琴平駅でバスから JR に乗り換えるよりも、バスで直接行くことができる。
- ・町内の公共交通が丸亀コミュニティバスや三豊市コミュニティバスとの連携が取れれば、もっと遠方まで行くことができる。
- ・まんのう町と琴平町における住民移動の境界は無いに等しいため、町同士の連携を視野に入れた施策を期待する。・あいあいタクシーは、町外（琴平町の病院など）へ行けるようにしてほしい。

2. 町内に核となる交通結節点がない

◇現状、まんのう町内には交通結節点無く、公共交通の核となる場所が無い。

（現状・問題点）

・自宅の最寄りの鉄道駅（住民アンケート）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
駅名	琴平駅（JR・ことでん） 【49.3%】	羽間駅（ことでん） 【15.8%】	榎井駅（ことでん） 【13.7%】	塩入駅（JR） 【12.3%】	岡田駅（ことでん） 【8.6%】

・鉄道を利用する方によく利用する鉄道駅（住民アンケート）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
駅名	琴平駅（JR） 【35.3%】	羽間駅（ことでん） 【22.2%】	岡田駅（ことでん） 【15.6%】	榎井駅（ことでん） 【8.1%】	琴電琴平駅（ことでん） 【5.9%】

- ・まんのう町が各バス会社を統括して利用できる「バスターミナル」を整備できれば、乗り継ぎ利用の利便性が上がるのではないかと。

3. 半日で学校が終わった場合、帰りの屋の便が少ない

◇高校生などが半日で学校が終わった場合、帰りの屋の間における鉄道や路線バスの便が少ない。

（現状・問題点）

- ・高校生のテストが終わるのが、屋になることが多く、屋間の鉄道やバスの便数が少なく、不便である。・小中学生はそんなに困ってはいないと思うが、高校生は平日以外の屋間が不便となっている（屋間の便が少ない）。

4. 町民の公共交通に対する関心が低く、情報が伝わっていない

◇あいあいタクシーは、事業を開始して 10 年以上経つが、知らない方が 30.9%（住民アンケート）となっている。
 また、あいあいタクシーを知っている方で共通バス券を知らない方が 69.8%（住民アンケート）となっており、町民の公共交通に対する関心が低いと言える。
 ◇関心が低い理由としては、町民の普段の移動手段が自家用車になっているため、公共交通について知らない方が多いと考えられる。
 ◇また、もう一つの理由として、現状、公共交通に関する広報活動を行っているものの、情報が伝わっていないことが考えられる。
 ⇒普段は自家用車を利用していても、公共交通を移動手段の一つとして認識しておけば、自家用車を利用できないときの移動の選択肢になる。そして利用者が少しずつ増えていけば公共交通の運行を継続させることができ、高齢者や通学者、障がい者などの交通弱者の生活を間接的に支えることにつながる。「公共交通を利用して残す」意識を醸成し、町民と公共交通を近づける取組が必要である。（前提条件として、利用しやすい公共交通サービスがあること）

（現状・問題点）

・主な移動手段【目的別】（住民アンケート）

目的	第1位	第2位	第3位
通勤・通学	自分で自家用車を運転 【89.1%】	自転車 【8.1%】	家族や近所の人・知人に送迎を頼む 【6.8%】
通院	自分で自家用車を運転 【78.8%】	家族や近所の人・知人に送迎を頼む 【16.9%】	タクシー 【5.1%】
買い物	自分で自家用車を運転 【85.2%】	家族や近所の人・知人に送迎を頼む 【13.6%】	自転車 【4.7%】

- ・あいあいタクシーは住民側の利用方法について理解等が不足しているかも知れない。
- ・あいあいタクシーの利用方法は複雑で一部の高齢者には分かりにくいと思う。

5. 運転手不足や高齢化

◇公共交通の担い手である運転手が不足しており、高齢化が進んでいる。

（現状・問題点）

- ・運転手が不足している。
- ・あいあいタクシーの運転手の平均年齢が 60 歳以上となり高齢化している。

6. 観光客向けの公共交通が整っていない

◇観光客を対象とした公共交通が構築されていない。

（現状・問題点）

- ・観光客の移動手段は、ほとんどが自家用車である。
- ・公共交通対策は、日常生活での移動対策が主となっており、観光まで手が回っていない。
- ・まんのう町は通過観光が多く、滞在性が低いので、本格的な観光向けの公共交通の確保は難しいと考えている。ホテル等もほぼ無く、観光地と結ぶなどの移動が発生しにくい状況にある。
- ・まんのう公園まで行ける路線バスが必要ではないのか。

7. 介護タクシー事業者が町内にない

◇町内に介護タクシー事業者がなく、今後、需要が増えてくる可能性がある。

（現状・問題点）

- ・今後、介護タクシーの需要が増えると思うが、介護タクシー事業者がないのが課題になってくるのではないかと。また、介護施設と連携した公共交通が必要になってくる。

課題（交通モードごとの個別課題）

1. 高松琴平電気鉄道（琴平線）の課題

- ◇羽間駅の駐車場が一杯になることがあり、車を駐めることができないときがある。
- ◇榎井駅の近くにバス停がない。

（現状・問題点）

- 琴電については、町内または町内近くの駅に駐車場（羽間駅、榎井駅）が少ない場合や無い場合があるため、改善できないか。
- 榎井駅とバス停との距離を詰めてほしいが、接続までの道路が狭く、ロータリーがない。
- 岡田駅を西の拠点駅として、まんのう町や丸亀市にお住まいの人が高松市方面に行けるように整備したい。また、整備にあわせて自治体と協議して駐車場の無料化を検討したい。

2. 路線バスの課題

- ◇美合線においては、落合橋で乗り換えが必要となり、不便になっている。

（現状・問題点）

- 利用者からは丸亀市から琴平線を経由して美合線に乗り換え、さらに落合橋で乗り換えするのが不便という声があった。
- バス利用は、落合バス停で乗り換えるが待ち時間が長い（朝の15分は厳しい）のが課題で、待合環境も良くない。

3. あいあいタクシーの課題

- ◇通院で利用した際に、診療時間が延びて、帰りの予約時間に乗れないことがある。
- ◇地域によって人数制限（運行エリアが広域であるため全てを拾えない）によって乗れないことがある。
- ◇利用者アンケートの満足度調査で「やや不満・不満」が高い項目は、運行本数（33.3%）、運行する曜日（32.8%）、運行時間帯（28.8%）の順となっている。

（現状・問題点）

- 利用者の76.3%が70・80歳代の高齢者である。
- 帰りのあいあいタクシーは最大1時間待ちになることもあるため、徒歩で帰ることもあった。
- あいあいタクシーは時間が掛かる事があり、病院の予約時刻に間に合わないことがあるので、運行時刻の変更はできないか。
- 朝一番の運行は利用のない日もあるので、運行時刻を30分程度遅らせることで、昼の帰り便が有効に活用できるようになるのではないか。
- あいあいタクシーは、土・日運休のため、子供たちも出られない。
- あいあいタクシーの具体的な評価（利用者アンケート）

項目	ちょうどよい・今のままでよい	サービスを変えてほしい
運行本数	51.4%	48.6%
運行する曜日	36.2%	63.8%
運行時間帯	67.8%	32.2%

4. 温泉送迎かりんバス・仲南地区福祉バスの課題

- ◇バスが老朽化している。

（現状・問題点）

- 乗客28人乗りを平成22年9月に購入した。バスの老朽化に伴い、維持費、故障時の対応などを考慮し、交通事業者への委託も検討したい。バスの買い替えは現在予定していない。
- 平成12年～13年頃に初回登録をしたバスであり、かなり老朽化をしている。新しいバスを導入して継続するかを検討する必要がある。

5. タクシー事業者の存続

- ◇利用者は減少傾向にあり、タクシー事業者の経営が厳しくなる可能性がある。

（現状・問題点）

- 年間利用者数は、平成30年から令和4年にかけて2,462人減った。
- 福祉タクシー制度（75歳以上、障がい者を対象。タクシー券500円×24枚支給）は原則、病院のみの利用に限られている。条例を改正して買い物や公共施設への利用も検討してほしい。また、福祉タクシーは1社のみとなっている。
- あいあいタクシーは、乗車人数等によって、目的地までの運行時間が異なるため、時間が決まっていた方がよいように思うが、あまり便利になるとタクシーの経営を圧迫することになる可能性がある。
- 夜間は回復してない。タクシーがないので毎年やっていた宴会を取りやめたという話を聞いたことがある。他のタクシー事業者は夕方以降の営業をしなくなったので、夜間・深夜には呼ばれることがある。
- 空車がなく、利用を断ることがある（前日の夜に予約の電話が入ることがあるが、翌日の午前中の予約がいっぱいで断ることがある）。